



※活動風景写真は令和元年度以前に撮影

神戸常盤ボランティアセンターは、神戸常盤大学生・短期大学部生だけでなく、神戸常盤女子高校生、神戸常盤大学附属ときわ幼稚園児とその保護者、教職員、卒業生等、学園関係者を対象にボランティア活動の推進を図るため、学園のボランティアセンターとして設置されています。

阪神淡路大震災では、本学園の生徒3名も犠牲となり、大学校舎やグラウンドも被害を受けました。また、地域の皆様の要望を受けて、校舎を避難所として開放し、全国からご支援を受けました。このような経験がもとになり、現在では毎年JR新長田駅前で行われている「1.17KOBEに灯りをinなかがた」に学園全体でボランティア活動に参加しています。幼稚園では、追悼行事当日に灯りを灯すためのろうそく作りを行い、大学生・高校生は当日会場にて行事運営のお手伝いや豚汁の炊き出し、行事継続のための募金活動を行っています。



学校法人 玉田学園
神戸常盤ボランティアセンター



※活動風景写真は令和元年度以前に撮影

本センターのもう一つの大きな特徴として、設立準備段階より神戸市長田区社会福祉協議会と協働してセンター設立準備を行い、神戸市長田区の地域福祉推進の一助となるよう、社会福祉協議会、地域団体と連携した活動を行っていることが挙げられます。

例えば、福祉事業所のみなさんと実行委員会を組織し、開催する「一七市拡大版」では本学園の学生・生徒が運営のお手伝いをしています。また、本学園主催の地域貢献イベント「TOKIWA健康ふれあいフェスタ」や神戸常盤女子高文化祭では、障がい者福祉作業所のみなさんにお越しいただき、作業所自主製品の販売等も行われています。

平成30年5月にオープンした神戸常盤大学子育て総合支援施設KIT（きっと）では、地域のボランティアの皆さんとの協働のもと、学生による絵本の読み聞かせやサイエンスカフェの開催等、子どもを対象としたボランティア活動も盛んです。

これらの活動は、学生・生徒・園児の正課内外での教育活動の一環としてだけでなく、「地域とともに」を目指す本学園の地域貢献活動としての役割も果たしています。



学校法人 玉田学園

神戸常盤大学・神戸常盤大学短期大学部 / 神戸常盤女子高等学校 / 神戸常盤大学附属ときわ幼稚園